

みず けんてい 11月 (うすいしんとう ちよりゆうへん)  
水マス検定 11月 (雨水浸透・雨水貯留編)

つる み がわりゆういき はかせ  
鶴見川流域水マス博士になろう！

つる み がわりゆういき では、しみん きぎょう ぎょうせい ちから あ あんぜん い  
鶴見川流域では、市民・企業・行政が力を合わせて、安全で、生きものがたくさんく  
すてき まち みずべ つく みず つる み がわりゆういきみず  
す素敵な街や水辺を作ろうと、水マス（鶴見川流域水マスタープランの略称）が進められて  
います。そんな水マスをみなさんに知ってもらうために、スタッフが問題を作っています。

こんげつ  
今月のテーマは「雨水浸透・雨水貯留」、出題者はスタッフの小林範和です。みなさんチャ  
レンジしてくださいね。

げんざい かんない はいふ きゅうし じょう とくへつはいしん  
※現在、鶴見川流域センターでは館内での配布を休止しているため、WEB上での特別配信を  
させていただきます。くわしいルールは、2ページ目をご覧ください。

ヒントは、以下のパンフレットを参考にしてください。

・バクさんが案内する鶴見川流域 BOOK [https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr\\_content/content/000047228.pdf](https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000047228.pdf)

・水マス(大人版) [https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr\\_content/content/000640154.pdf](https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000640154.pdf)

・水マス(子ども版) [https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr\\_content/content/000643586.pdf](https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000643586.pdf)

Q11-1 こうすい きげん からみんなのくらしをまもるため、鶴見川流域で流域一体となった「総合治水  
と かく ぼうか  
対策」に取り組んで今年で40年を迎えます。総合治水対策がスタートした当時、鶴見川流域は急速  
に市街化が進んでいました。昭和55年(1975年)の鶴見川流域の市街地率は何%でしょうか？

ヒント→水マス(子ども版)・P5

A: 10% B: 60% C: 85% (答え: )

Q11-2 流域の市街化が進み、もり たはた じゅうたくち か  
流域の市街化が進み、森や田畑が住宅地が変わっていくことで、鶴見川流域では水害の  
危険性が高くなってしまいました。さて、どうしてでしょう？

ヒント→水マス(子ども版)・P6 (答え: )

A: 降った雨が地面にしみ込まなくなり、川に一気に流れ込むようになるから。

B: 自然が少なくなり、生きものが減ってしまうから。

C: たくさんの人が暮らすようになり、水をたくさん使うから。

Q11-3 総合治水対策では、大雨が一気に川に流れ込んでしまうのを防ぐために、色々な雨水対  
策を行っています。どんな対策があるでしょうか？(いくつでもOK)

ヒント→バクさんが案内する鶴見川流域BOOK・P14・15 (答え: )

A: 流域に残された森や田畑をできる限り守る。

B: 流域に降った雨を一時的に貯めておく「調整池」をつくる。

C: 雨水浸透マスなど、雨を一時的に貯め、地面にしみ込ませる施設をつくる。

Q11-4 流域の市街化が進むことで、水害の他にも鶴見川では困ったことが起きてしまいました。  
さて、どんなことがおきたでしょう？

ヒント→水マス(子ども版)・P8、鶴見川流域BOOK・P10 (答え: )

A: 雨が地面にしみ込みにくくなり、ふだんの川の水が減ってしまった。

B: みんなが川で遊ぶようになり、大混雑になった。

C: 生活排水が直接川に流れ込み、川の水が汚れてしまった。

Q11-5 水害を防ぐために雨を地面にしみ込ませることは、「昔のようにきれいで豊かな川の流  
れを取り戻す(平常時水マネジメント)」ことにもつながります。さて、どうしてでしょう？

ヒント→水マス(大人版)・P8 (答え: )

A: 雨が地面にしみ込みことで地下水が増え、湧き水も増えるから。

B: 生活排水が、川に流れ込まなくなるから。

C: 川にごみを捨てる人が減るから。

Q11-6 水害を防ぐために流域に残された森や田畑をできる限り守ることは、「大切な自然を守り未来に残す」ことにもつながります。これは、水マスの5つのマネジメントのどれでしょうか？

ヒント→水マス(大人版)・P9

(答え: )

A: 平常時水マネジメント B: 自然環境マネジメント C: 水辺ふれあいマネジメント

Q11-7 流域に降った雨を一時的に貯めておく「調整池」にある工夫をすることで、自然を守ることもできます。さて、どんな工夫でしょうか？

ヒント→水マス(大人版)・P9

(答え: )

A: 水辺の生きものがくらせる「ビオトープ」にする

B: 池の水を全部ぬく

C: 立ち入り禁止にして人の手が入らないようにする

Q11-8 水害を防ぐために一時的にためておいた雨水を再利用することで、節水にもつながります。さて、どんな利用方法があるでしょうか？ (いくつでもOK)

ヒント→水マス(大人版)・P8

(答え: )

A: 庭の水まきに再利用

B: 浄化してから水洗トイレに再利用

C: もう一を雨になるよう、空にまく

Q11-9 ヨーロッパやアメリカなどを中心に整備が進んでいる「家庭でもできる保水ができる庭」を「OOOガーデン」と呼んでいます。Oに入る文字はなんですか？

ヒント→次のページの資料

(答え: )

A: コイン B: ライン C: レイン

Q11-10 Q11-9のOOOガーデンは、横浜市港北区と新横浜町内会(※水マス推進サポーター)が協定をして、ある場所に設置しています。ある場所とはどこでしょうか？

ヒント→横浜市ホームページ

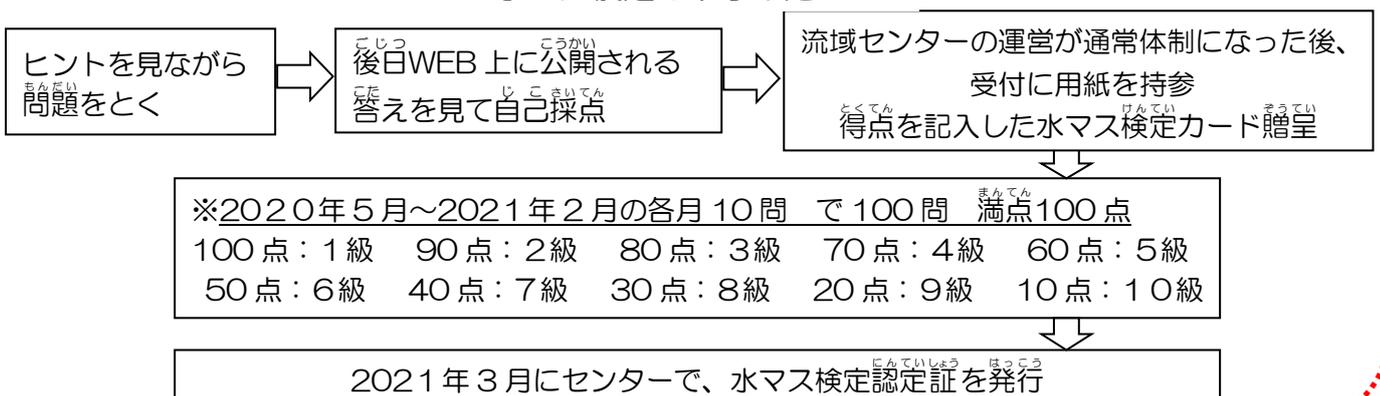
<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/kohoku/2018/20181026-008-28406.files/phpchYI4.pdf>

(答え: )

A: 新横浜駅前西広場 B: 新横浜公園 C: 新横浜駅前公園

※水マス推進サポーターとは水循環系の健全化を目指し様々な取り組みをおこなう「鶴見川流域水マスタープラン」のビジョンに沿って流域貢献活動をおこなっている団体・企業をサポーターとして認定し、水マスの活動をより一層推進してもらう制度です。

～水マス検定のやりかた～



<Q11-9ヒント> レインガーデン<sup>もけい げんさい</sup>模型（現在、鶴見川流域センターで<sup>てんしちゅう</sup>展示中）



レインガーデン<sup>しくみ</sup>の仕組み



「レインガーデン」ってなんだろう??

降った雨を一時的に地中にためておき、ゆっくりと時間をかけながら地下に染み込ませていくようにした花壇や植栽スペースのことを「レインガーデン」といいます。こうすることで、大雨が降った時に河川に大量の水が一気に流れ込むことを抑える働きがあり、治水に貢献しています。水マスでは「洪水時水マネジメント」に貢献しています。

鶴見川流域センターの花壇では、チョウが蜜を吸いに来たり、幼虫が好んで食べる植物を植栽しながら、一部を「レインガーデン」にして治水に貢献しながら生きものがたくさん暮らせるような環境づくりを進めています。